



# 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム

## ～横浜市新市庁舎は街を活性化できるか？～



【日 時】平成 27 年 8 月 28 日 ( 金 ) 18 : 30 ~ 21 : 00  
 【場 所】横浜市開港記念会館 講堂  
 【主 催】横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会  
 【参加費】無料 ( 申込不要 )



### 【タイムテーブル】

- 18:30-18:40 趣旨説明
- 18:40-19:00 新市庁舎の現状と今後の進め方 (横浜市新市庁舎整備担当 / 都市デザイン室)
- 19:00-19:40 ゲストによる公共空間、水辺空間の賑いづくりの事例紹介
  - ・富山グランドプラザ …山下裕子氏 (NPO法人GPネットワーク理事)
  - ・水都大阪 …泉英明氏 (一般社団法人 水都大阪パートナーズプロデューサー)
- 19:40-19:50 休憩
- 19:50-20:50 パネルディスカッション「新市庁舎の【活用】を考える ～横浜市新市庁舎は街を活性化できるか？～」
  - 山下裕子氏、泉英明氏、本多初穂氏 (馬車道商店街)、宮島真希子氏 (NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ)
  - モデレーター：国吉直行氏 (横浜市立大学)
- 20:50-21:00 クロージング

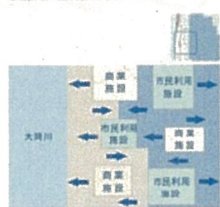


# 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム

## ～横浜市新市庁舎は街を活性化できるか？～

### 趣旨：

2020年のオープンに向けて、横浜市新市庁舎の施工事業者募集が始まりました。いよいよ本格的にスタートします。新しい市庁舎の敷地である北仲通地区は、横浜らしい水辺に面した場所であり、みなとみらい21地区と関内地区、野毛地区などの結節点でもあります。



「横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック」より

この場所に建設される新市庁舎の特に足元の部分には、大岡川沿いの水辺空間との関係性を考えながら商業や市民利用施設などを配置する、とされています。さらに新しくまちの玄関となり、「祝祭性・おもてなし」の場ともなる「屋根付き広場」が設けられる予定です。これらの空間が生き活きと使われた時、新市庁舎は、横浜のチャレンジ性をお見せする場、国内外のお客様をお迎えするハレの舞台や、私たち横浜市民が活動し、交流する場となることが出来るでしょう。

新しい市庁舎の低層部がそのような横浜を象徴する場、横浜にしかなできない先進的な開かれた場となるためには、今この時点で関心を持つ市民や様々な活動団体、企業などが、アイデアを出し合いながら、「真に街に開かれた空間」の様々な活用やマネージメントについて、横浜市と一緒に議論を始めるべきである、と考えます。今回企画するシンポジウムを、新しい市庁舎の【活用】について、官民が手を携えて考える場づくりの第一歩としたいと考えています。ぜひご参加ください。

横浜市新市庁舎整備HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>

### ゲスト：

山下 裕子 氏

広場ニスト／全国まちなか広場研究会／NPO法人GPネットワーク理事

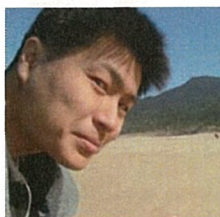


2007年富山市まちなか賑わい広場グランドプラザ運営事務所。2010年(株)まちづくりとやまグランドプラザ担当。現在、NPO法人GPネットワーク理事、(株)ハイマート久留米にて、ひと・ネットワーククリエイター。

著書に「にぎわいの場 富山グランドプラザ—稼働率100%の公共空間のつくり方」(学芸出版社)

泉 英明 氏

有限会社ハートビートプラン代表取締役／NPO法人もうひとつの旅クラブ理事／(一社)水都大阪パートナーズプロデューサー



高松、下関の中心市街地再生、モノづくりのまち高井田住工共生まちづくり、着地型観光事業「OSAKA 旅めがね」、水辺公共空間のリノベーション「北浜テラス」、水辺や船の楽しみ方を創造し、世界に発信する「水都大阪」事業推進などに関わる。

### パネリスト：

山下裕子氏、泉英明氏、本多初穂氏(馬車道商店街)、宮島真希子氏(NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ)モデレーター：国吉直行氏(横浜市立大学)

【主 催】横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会

(横浜商工会議所都市政策委員会、関内まちづくり振興会、馬車道商店街協同組合、野毛地区街づくり会、横浜まちづくり倶楽部、よこはま市民メセナ協会、水辺荘、横浜市事務局 NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ info@yokohamalab.jp)





## 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム2 ～横浜を象徴する「開かれた交流の場」をつくる～



- 【日 時】平成 27 年 9 月 27 日 (日) 18:30～21:00  
 【場 所】横浜市開港記念会館 講堂  
 【主 催】横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会  
 【参加費】無料 (申込不要)

### 【タイムテーブル】

- 18:30-18:40 趣旨及び第1回シンポジウムの概要説明  
 18:40-19:40 ショートプレゼンテーション  
 ・水辺荘 ・HamaBridge 濱橋会 ・あっちこっち ・市民セクターよこはま  
 ・横浜まちづくり倶楽部 ・野毛地区街づくり会  
 19:40-20:00 休憩+意見の書き込み  
 20:00-20:50 ディスカッション【横浜を象徴する「開かれた交流の場」をつくる】  
 大西晴之氏 (横浜商工会議所)、西田由紀子氏 (よこはま市民メセナ協会)、国吉直行氏 (横浜市立大学)  
 モデレーター：片岡公一氏 (山手総合計画研究所)  
 20:50-21:00 クロージング





# 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム2

## ～横浜を象徴する「開かれた交流の場」をつくる～

### 趣旨：

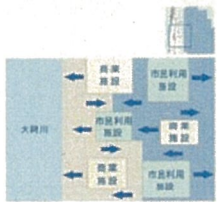
2020年のオープンに向けて、横浜市新市庁舎の施工事業者募集が始まりました。いよいよ本格的にスタートします。新しい市庁舎の敷地である北仲通地区は、横浜らしい水辺に面した場所であり、みなとみらい21地区と関内地区、野毛地区などの結節点でもあります。

この場所に建設される新市庁舎の特に足元の部分には、大岡川沿いの水辺空間との関係性を考えながら商業や市民利用施設などを配置する、とされています。さらに新しくまちの玄関となり、「祝祭性・おもてなし」の場ともなる「屋根付き広場」が設けられる予定です。これらの空間が生き活きと使われた時、新市庁舎は、横浜のチャレンジ性をお見せする場、国内外のお客様をお迎えするハレの舞台や、私たち横浜市民が活動し、交流する場となることが出来るでしょう。

第1回のシンポジウムではゲストから水辺空間、広場空間の先進事例についてプレゼンテーションを頂き、その後ゲストに横浜のパネリストを交えて、横浜における市庁舎のあるべき姿や、その活用についてディスカッションを行いました。

新しい市庁舎の低層部がそのような横浜を象徴する場、横浜にしかできない先進的な開かれた場となるためには、今この時点で関心を持つ市民や様々な活動団体、企業などが、アイデアを出し合いながら、「真に街に開かれた空間」の様々な活用やマネジメントについて、横浜市と一緒に議論を始めるべきである、と考えます。今回企画するシンポジウムを、新しい市庁舎の【活用】について、官民が手を携えて考える場づくりの第一歩としたいと考えています。ぜひご参加ください。

横浜市新市庁舎整備HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>



水辺空間  
(まちが主体の相互方向の関係)

「横浜市新市庁舎デザイン  
コンセプトブック」より

### ショートプレゼンテーション：

横浜市新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会の構成メンバー等から、新市庁舎低層部の活用や、空間、マネジメントのあり方についてのイメージを持ちやすくするための、短いプレゼンテーションを行ないます。

- ・水辺荘 ・HamaBridge 濱橋会 ・あっちこっち ・市民セクターよこはま
- ・横濱まちづくり倶楽部 ・野毛地区街づくり会

### ディスカッション：【横浜を象徴する「開かれた交流の場」をつくる】

大西晴之氏（横浜商工会議所） 西田由紀子氏（よこはま市民メセナ協会）  
国吉直行氏（横浜市立大学） モデレーター：片岡公一氏（山手総合計画研究所）

【主 催】 横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会

（横浜商工会議所都市政策委員会、関内まちづくり振興会、馬車道商店街協同組合、野毛地区街づくり会、横濱まちづくり倶楽部、よこはま市民メセナ協会、水辺荘、HamaBridge 濱橋会、市民セクターよこはま、横浜市）  
事務局 NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ info@yokohamalab.jp





ここから生みだそう 新しいよこはま

わたしたちが使いたくなる

「パブリックスペース」をつくろう！

～横浜市新市庁舎低層部 アイデア・ワークショップ～



【日 時】 12月15日(火) 14:00～16:30

12月16日(水) 19:00～21:30 (両日とも内容は同一です。どちらかにご参加ください)

【場 所】 15日：横浜市市民活動支援センター・ワークショップ広場

(横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 4F)

16日：YCC ヨコハマ創造都市センター 3F イベントスペース

(横浜市中区本町 6-50-1)

【主 催】 横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会

【参加費】 無料 (定員各 60 名)

【受付方法】 ・Facebook イベントページへの参加表明

15日 <https://www.facebook.com/events/1222127887817291/>

16日 <https://www.facebook.com/events/1511011709194106/>

・事務局 (横浜コミュニティデザイン・ラボ) へのメールでの申し込み

MAIL : (info@yokohamalab.jp) TEL : 045-664-9009 FAX : 020-4666-6061

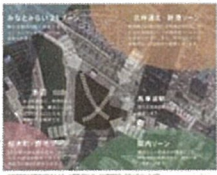




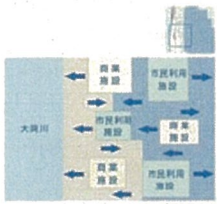
# わたしたちが使いたくなる 「パブリックスペース」をつくろう！ ～横浜市新市庁舎低層部 アイデア・ワークショップ～

## ここから生みだそう 新しいよこはま

**趣旨：** 2020年1月に完成予定の新しい横浜市役所新庁舎。みなとみらい線馬車道駅に直結する北仲通南地区ですでに整備に向けた発掘調査が始まっています。



横浜市は「～開港の街から持続可能で豊かな国際都市へ～ 人、自然、街がつながる開かれた市庁舎を具現化し、市民と共に OPEN YOKOHAMA を創出する」という大切な使命を、この新しい建物に課しています。



建物は概ね32階建て160メートルの超高層ビル（延床面積約14万500㎡）です。低層部（1～3階）に設けられる屋根付き広場（アトリウム）や市民協働スペース、建物内外のオープンスペースは、市民の日常的な憩いの場や、公的な行事を含んだイベントの舞台として、それ自体が横浜のシンボルとなることが期待されています。

このスペースを、わたしたち市民がより横浜を「暮らしてよかった」という都市にしていこう活動の場、にぎわいの場にしていこうために、あなたが考えているアイデアを出してみませんか？

新市庁舎デザインコンセプトブックより

集まったみなさんでワイワイ話をしながら、アイデアを出し合うワークショップを開催します。出てきたアイデアはまとめて、2016年から始まる設計に生かしてもらうために市の担当課に届ける予定です。

参加希望の方は「横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック」や過去のシンポジウム資料などを一読のうえ、ぜひご参加ください。

横浜市新市庁舎整備HP：<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>

横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウムアーカイブページ：<https://yokohamashinshichousha.wordpress.com/>

## ワークショップの流れ：

1. このワークショップの趣旨／これまでの経緯について説明
2. 本日のゴールと進行について説明
3. 全員ブレインストーミング
4. 自分のアイデアを書き出そう！
5. 全員のアイデアを共有しよう！
6. 上位アイデア発表
7. アイデア別チームビルディング&発展プレスト
8. 6つのアイデア発表

【主催】横浜新市庁舎の活用を考えるシンポジウム実行委員会

（横浜商工会議所都市政策委員会、関内まちづくり振興会、馬車道商店街協同組合、野毛地区街づくり会、横濱まちづくり倶楽部、横浜市民メセナ協会、水辺荘、HamaBridge 濱橋会、市民セクターよこはま、横浜市）

事務局 NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ [info@yokohamalab.jp](mailto:info@yokohamalab.jp)

広報協力：横浜市市民活動支援センター



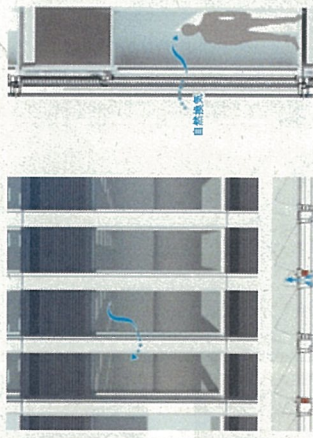
# エンジンアリアング

## 「設計コンセプトを支える技術提案」

## 3つの技術

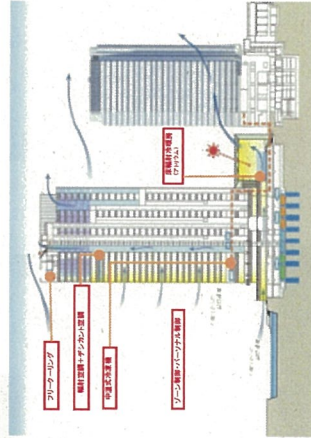
### ファサード

- ・ コアを東側に配置した基準階プラン
- ・ 高断熱ダブルスキングカーテンウォール
- ・ エコボイドの煙突効果による自然換気



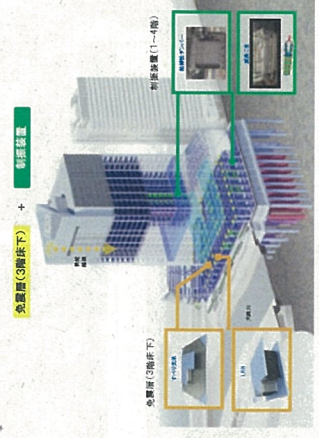
### 環境

- ・ 熱負荷の徹底削減
- ・ 高効率な熱処理
- ・ 自然エネルギー最大利用



### 構造

- ・ ハイブリッド免震（3階床下免震+制振）
- ・ 津波浸水リスクを低減する床レベル
- ・ ねじれ変形を抑制する大径列抗



# 横浜市新市庁舎計画案デザインレビュー

一デザインビルドを主導する建築家と設計チームが新市庁舎案を語る—

2016年2月 横浜市新市庁舎デザインビルド(以下DB)事業者が決定しました。基本設計から施工まで一括して施工会社が担当する、というこれまででない方法に対し、建築界からは危惧の声もあがっていました。

「新市庁舎は、計画地の都市的文脈、環境、構造、コスト等多くのファクターを読み込み、これからの横浜を象徴する市民のための先進的なシティホールとして計画されるべきものであり、また、DB方式であるにしても、これらの点を具体化するために優れた設計者あるいは建築家が主導的な役割を果たすべきである」と考え、JIA神奈川県では要望書を提出するとともに研究会を立ち上げ、事業提案計画作成に際して特に留意すべき事柄の整理などについて横浜市と意見交換をしてきました。

今回、横浜市新市庁舎の事業者は、竹中・西松建設共同企業体に決定しましたが、このチームには横総合計画事務所がデザイナー監修者として参画しています。

今後基本設計が本格化するこのタイミングで、日本建築学会神奈川支所、神奈川県建築士会も加わり、横浜市の理解も得て、昨年に提案された計画案の主旨について、デザイナー監修者である横総合計画事務所・横文彦氏と竹中・西松チームから、新市庁舎提案のコンセプトや内容の説明を受け、質疑応答を行う場を設けることになりました。

この機会を、より良いシティホールを実現するために、市民に開かれた設計プロセスの第一歩にできれば、と考えています。

- 日時：平成28年4月27日(水) 18:30～20:30(受付開始18:00)
- 場所：横浜市開港記念会館 講堂
- 主催：日本建築学会関東支部神奈川支所  
一般社団法人 神奈川県建築士会  
公益社団法人 日本建築家協会関東支部神奈川地域会(JIA神奈川県)
- 共催：横浜市

■当日スケジュール：(同会進行) 青木恵美子(JIA神奈川県)

- 18:30～挨拶(主旨説明) 国吉直行(建築学会神奈川支所長、横浜市立大学特別契約教授)
- 18:40～計画案コンセプトについて 横文彦、福永知義(横総合計画事務所)
- 技術提案について 竹中・西松建設共同企業体 設計チーム
- 19:40～質疑応答(質問者) 野原 卓(横浜国立大学 准教授)
- 小泉雅生(JIA神奈川県代表、首都大学東京 教授)
- 飯田善彦(JIA神奈川県代表)
- 20:20～今後の進め方について 鈴木和宏(横浜市総務局新市庁舎整備担当部長)
- 終了挨拶 金子修司(神奈川県建築士会会長)

横浜市総務局新市庁舎整備担当 TEL：045-633-3903 FAX：045-664-2501  
email: so-chosyaoplan@city.yokohama.jp

※ 当デザインレビューの録音・撮影はご遠慮ください。





代官山ヒルサイドテラス



金沢シーサイドタウン

1965 ● 横浜六大事業

1969-1992 ● 横浜市

1976-1978 ● 横浜市

1981 ● 横浜市



並木第一小学校

1997 ● 横浜市



篠原地区センター  
地域ケアプラザ

2003 ● 横浜市



横浜アイランドタワー

2005 ● 横浜市



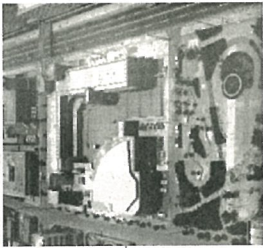
旧富士銀行横浜支店  
映像文化施設

2014 ●

2016 ●

2020 ●

4 WORLD TRADE CENTER



金沢区総合庁舎

榎 文彦 まほふみむこ  
1928年東京都生まれ、東京大学、ハーバード大学に学び、また  
職域で取得し、1965年創設した榎事務所設立 代表  
作にヒルサイドテラス、ヒルサイドタワー、高層タワー、4WTC、クラ  
ウドセロ等。現在、北相模、アラス、ヨーロッパの各地でプロ  
ジェクト進行中。日本建築大賞、朝日賞、プリツカー賞、  
AIAゴールドメダル賞を受賞。著作に「見る回れずる都市」(井  
上 雅也出版会)、「記憶の形」(筑摩書房)、「読む摩天楼」(井  
上 雅也・Hatsune Dreams 刊) PRESS等がある。

横浜市新市庁舎計画案



## アーバンデザイン

- ・海から港、そして街へ繋がる新市庁舎
- ・みなとみらい21、関内、桜木町・野毛など各地区を結ぶ結節点
- ・遠景：なだらかなスカイラインを形成する群衆景観の創出

## 建築デザイン

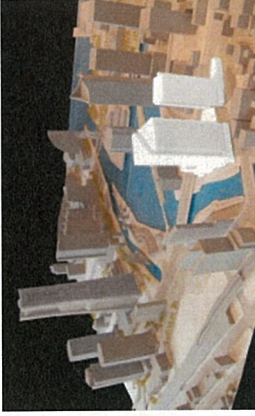
- ・中景：都市のゲートにふさわしいボリュームデザイン
- ・近景：横浜アイランドタワーとの調和のとれた外観
- ・議会棟の独立性を高める配置と形態
- ・歴史の重層性を尊重する低層部のコーニスライン

## 高層部デザイン

- ・白いシルクの質感をもつ品位あるたすまい
- ・垂直ラインを基調とする白いアルミの外装
- ・眺望と環境性能を兼ね備えたダブルスキニングカーテンウォール

## 低層部デザイン

- ・水際線プロムナードに沿って立体的に展開される緑のカスケード
- ・水辺の憩いの場となるギャラリーや商業施設につながるデッキテラス
- ・大岡川での水辺の市民活動を促す広場とプロムナード



- ・3つの広場とアトリウムをつなぐ歩行者ネットワーク
- ・水辺とアトリウムを多様に繋ぐ3層構成の回遊動線
- ・光と風と緑を採り入れ、開放的なアトリウムとギャラリー





# 新市庁舎に「ひろば」ができる!

新市庁舎の「ひろば」を考えるシンポジウム

低層部の開かれた空間の使い方について、国内各地の実践例をヒントに、市内で活動する方、専門家を交えて語りあいます。

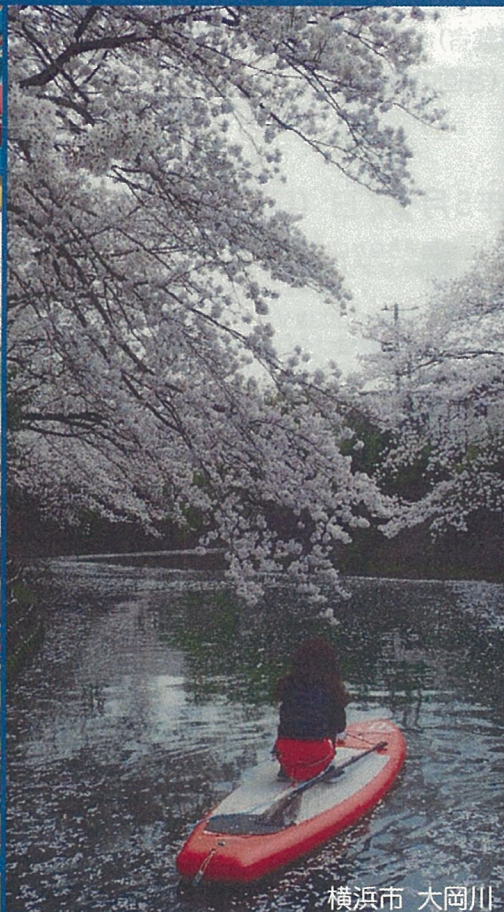
第1回 北部方面  
多様な活動を育む場



富山市 グランドプラザ

平成 28 年 5 月 22 日 (日)  
13:00 ~ 15:20 (開場 12:30)  
都筑区役所 6 階大会議室  
《申込締切 5 月 19 日 (木)》

第2回 中部方面  
水辺やオープンスペースの魅力発信



横浜市 大岡川

平成 28 年 5 月 28 日 (土)  
18:30 ~ 20:50 (開場 18:00)  
保土ヶ谷公会堂 一号会議室  
《申込締切 5 月 26 日 (木)》

第3回 南部方面  
賑わいの仕組みづくり



札幌市 北3条広場 [アカプラ]

平成 28 年 6 月 5 日 (日)  
14:00 ~ 16:20 (開場 13:30)  
横浜市立大学 ビデオホール  
《申込締切 6 月 2 日 (木)》



センター南駅徒歩 6 分



星川駅北口徒歩 3 分



金沢八景駅徒歩 5 分

※申込は 5 月 11 日から各回先着 100 名です。《入場無料》  
※申込は各回毎となります。右の申込サイトか裏面の FAX 送付票で  
横浜市総務局新市庁舎整備シンポジウム受付係までお申し込みください。  
※手話通訳が必要な方はそれぞれの回の 2 週間前までにご連絡ください。

申込サイト ▶

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/symposium.html>





## 新市庁舎の「ひろば」を考えるシンポジウム

平成 32 年に完成予定の新市庁舎の低層部には、多くの市民の皆さまが気軽に集い、憩える親水空間やアトリウム（屋根付き広場）などの「ひろば」の整備を計画しています。

こうした低層部の計画概要を市民の皆さまに広く知っていただくとともに、低層部の開かれた空間の活用についての考えを深めるため、公共空間の活用や管理・運営の分野に詳しく、全国各地で活躍する専門家の方々をお招きし、市内三方面でシンポジウムを開催します。

コーディネーター：片岡公一（株式会社山手総合計画研究所）  
都市デザインや都市計画、建築等の事務所のスタッフとして、横浜市内のプロジェクトを数多く手掛けている。

### ■各回の共通プログラム

- ・新市庁舎整備計画概要説明（横浜市）
- ・提案計画の説明（デザインビルド事業者）
- ・事例紹介、パネルディスカッション（各回の概要参照）

### ■各回の概要

《第1回（北部方面）》平成 28 年 5 月 22 日（日）13:00～15:20 都筑区役所6階大会議室

#### 多様な活動を 育む場

平成19年富山市まちなか賑わい広場グランドプラザ運営事務所。平成22年（株）まちづくりとやまグランドプラザ担当。平成26年（株）ハイマート久留米にてひと・ネットワーククリエイター。現在、広場ニストとして大阪を拠点に活動中。著書に「にぎわいの場 富山グランドプラザ―稼働率100%の公共空間のつくり方」（学芸出版社）

山下裕子 全国まちなか広場研究会  
NPO法人GPネットワーク

岩室晶子 作・編曲家 NPO法人I Love つづき理事長  
NPO法人ミニシティ・プラス事務局長  
日本ナポリタン学会副会長 等

数多くヒット曲を編曲。環境、防災、福祉、青少年支援、経済等あらゆる分野でまちづくりを仕掛けている。現在法人で、コミュニティカフェ「シェアリーカフェ」を運営している。横浜市歌で盆踊り～横浜市歌音頭のディレクションなども。

《第2回（中部方面）》平成 28 年 5 月 28 日（土）18:30～20:50 保土ヶ谷公会堂一号会議室

#### 水辺や オープンスペースの 魅力発信

大岡川の水辺を使い倒すチーム「水辺荘」共同発起人。ライフワークとして都市の水辺の活性化をはかる活動を行っており、水辺の建築家を自認。全国の水辺に興味を持つ市民や企業、行政の三位一体で、日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクトである「ミズベリング」のディレクターを担っている。

岩本唯史 RaasDESIGN建築設計事務所代表  
株式会社水辺総研代表

藤井優子・寺田浩之  
NPO法人こども自然公園どろんこクラブ  
平成14年に「こども自然公園自然体験施設管理運営委員会」が発足し、平成18年よりこども自然公園の自然体験施設の指定管理者となる。自然体験プログラムの提供、生態系維持のための管理活動、帷子川など身近な自然の再発見のための環境教育支援などを行っている。

《第3回（南部方面）》平成 28 年 6 月 5 日（日）14:00～16:20 横浜市立大学ビデオホール

#### 賑わいの 仕組みづくり

平成25年3月まで札幌市職員。都市計画課部長、都心まちづくり推進室長等を歴任し、北三条広場、創成川公園等の整備や民間都市開発の誘導、エリアマネジメント組織の立ち上げ推進等に従事。平成25年4月より現職。著書に「人口減少時代における土地利用計画」（共著：学芸出版社）など。

星卓志 工学院大学建築学部  
まちづくり学科教授

岡部祥司 ㈱アップテラス代表取締役  
NPO法人ハマのトウタイ共同代表  
㈱竹中工務店退社後、起業し、㈱アップテラスを設立。その後横浜青年会議所での活動を生かし、公共的空間の活用が出来る人を創るためにNPOを設立。主に、「パークキャラバン」と称した新しい公園活用提案を実践中。

### ■担当・連絡先

横浜市総務局新市庁舎整備 シンポジウム受付係 電話:045-633-3903 email: so-chosyaplan@city.yokohama.jp



## FAX 送付票

送付先：横浜市総務局新市庁舎整備 シンポジウム受付係 FAX: 045-664-2501  
切り取らずにこのまま送付してください。

●お名前 \_\_\_\_\_ ●ご連絡先 E-mail: \_\_\_\_\_  
FAX: \_\_\_\_\_ TEL: \_\_\_\_\_

●参加希望回に☑をつけてください。

- |  |                 |
|--|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 《第1回（北部方面）》5月22日（日）13:00～都筑区役所6階大会議室  | 《申込締切 5月19日（木）》 |
| <input type="checkbox"/> 《第2回（中部方面）》5月28日（土）18:30～保土ヶ谷公会堂一号会議室 | 《申込締切 5月26日（木）》 |
| <input type="checkbox"/> 《第3回（南部方面）》6月5日（日）14:00～横浜市立大学ビデオホール  | 《申込締切 6月2日（木）》  |



# 新市庁舎にみんなで「ひろば」をつくる会議(ワークショップ)

～豊かな市民生活や活動が育まれる新市庁舎低層部をみんなで考えよう～

## ■開催趣旨

横浜の新市庁舎は、“市役所という場で行われる様々な活動が非常に豊かである”“市役所に豊かな市民生活がある”という状態を目に見える形にすることで、人々の活動そのものこそが新しいシンボルとなることを目指しています。

こうした新しい象徴的な市役所の実現に向けて、現在、豊かな活動を支える「ひろば」の設計作業を進めているところです。

今年度は、計画概要などを説明する市民の皆さま向けのイベントを行ってきました。今回、将来の新市庁舎での活動につながるアイデアを幅広く募るため、市民の皆さまが実際に、考えや思いを提案できるワークショップを開催します。

## ■ファシリテーター

野原卓氏(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授/都市デザイナー)

2000年東京大学大学院(都市工学専攻)修了、設計事務所勤務の後、東京大学助教等を経て2011年より現職。

横浜市都市美対策審議会委員。横浜市相鉄いずみ野線沿線みらいに向けたまちづくり、を始めとした横浜市での都市デザインマネジメント実践のほか、宮城県石巻市や福島県喜多方市など、幅広いフィールドで、都市・地域空間の将来像について研究・実践を展開している。

■主催 横浜市

■提案・サポート 竹中・西松建設共同企業体



### 第1回

平成 28 年6月 24 日(金)

18:30 ~ 21:00

横浜アイランドタワー17階

定員:50名

《申込締切 6月 20日(月)》

### 第2回

平成 28 年6月 25 日(土)

13:30 ~ 16:00

横浜アイランドタワー17階

定員:50名

《申込締切 6月 20日(月)》

### 第3回

平成 28 年7月 31 日(日)

15:00 ~ 17:30

YCC ヨコハマ創造都市センター3階

定員:100名

《申込締切 7月 25日(月)》



※6月13日(月)から申込開始です。応募者多数の場合は抽選となります。

※申込は各回毎となります。右の申込サイトから裏面 FAX送付票で横浜市総務局新市庁舎整備担当 ワークショップ受付係までお申し込みください。(入場無料)

※手話通訳が必要な方は、第1回・第2回については6月15日(水)まで、第3回については7月19日までにご連絡ください。

申込開始6月13日(月)から

申込サイト▶

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/workshop.html>





新市庁舎の「ひろば」(屋根付広場、親水空間、市民協働スペース等の市民利用スペース)の活用・運営方法を前半と後半に分かれたワークショップで考えます。

■各回の概要

前半：低層部の「ひろば」でどんな活用ができるか考えてみましょう							
第1回(6月24日(金)) 第2回(6月25日(土))	第3回(7月31日(日))						
「低層部の活用アイデアをできるだけ多く考えよう」	「活用アイデアをまとめて運営につなげよう」						
<検討項目例> <table border="1"> <tr> <td>屋根付き広場</td> <td>イベントに参加したい</td> </tr> <tr> <td>親水空間</td> <td>アイデアを実現したい</td> </tr> <tr> <td>市民協働スペース</td> <td>「ひろば」づくりに関わりたい</td> </tr> </table>	屋根付き広場	イベントに参加したい	親水空間	アイデアを実現したい	市民協働スペース	「ひろば」づくりに関わりたい	<検討項目例> ① 前回アイデアの伸ばしたいポイント探し ② ①のポイントをもっと伸ばしたアイデア出し ③ アイデアの整理 ④ 低層部の活用で大事にしたいこと
屋根付き広場	イベントに参加したい						
親水空間	アイデアを実現したい						
市民協働スペース	「ひろば」づくりに関わりたい						

後半：低層部の「ひろば」の運営に必要なことを考えてみましょう(予定)		
第4回(平成28年11月頃)	第5回(平成28年12月頃)	第6回(平成29年1月頃)
運営その1 「低層部に必要なルールを考えよう」	運営その2 「自分の市民参加の方法を考えよう」	まとめ・発表(オープンWS) 「今までの成果を提案しよう」

頂いたご意見を基に、新市庁舎低層部の管理・運営に関する計画づくりへの反映を検討します。

■担当・連絡先

横浜市総務局新市庁舎整備担当 ワークショップ受付係 電話045-633-3903 email: [so-chosyaplan@city.yokohama.jp](mailto:so-chosyaplan@city.yokohama.jp)

<h2 style="margin: 0;">FAX 送付票</h2>	送付先: 横浜市総務局新市庁舎整備担当 ワークショップ受付係 FAX: 045-664-2501 切り取らずにこのまま送付してください。 申込開始: 6月13日(月)~	
	●お名前 _____	●ご連絡先 _____
●年代・性別 _____ 才代 男・女		
●参加経験 参加したことのあるイベントに☑をつけてください。(複数回答可) <input type="checkbox"/> 平成27年 8月28日 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム ~横浜市新市庁舎は街を活性化できるか?~ <input type="checkbox"/> 平成27年 9月27日 新市庁舎の【活用】を考えるシンポジウム2 ~横浜を象徴する「開かれた交流の場」をつくる~ <input type="checkbox"/> 平成27年12月15日16日 わたしたちが使いたくなる「パブリックスペース」をつくろう! ~横浜市新市庁舎低層部アイデア・ワークショップ~ <input type="checkbox"/> 平成28年 5月22日28日,6月5日 新市庁舎の「ひろば」を考えるシンポジウム		
●参加動機 低層部のイベント開催や運営に対して、あてはまる項目を○で囲んでください。(複数回答可) イベントに参加したい・アイデアを実現したい・「ひろば」づくりに関わりたい・その他 _____		
●参加希望回に☑をつけてください。		
<input type="checkbox"/> 《第1回》6月24日(金)18:30~横浜アイランドタワー17階	<input type="checkbox"/> 《第2回》6月25日(土)13:30~横浜アイランドタワー17階	<< 申込締切 6月20日(月) >>
<input type="checkbox"/> 《第3回》7月31日(日)15:00~YCCヨコハマ創造都市センター3階	<< 申込締切 7月25日(月) >>	